社会

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
・資料の読み取り方、読み取る力	・複数の資料を関連付けたり、比較したりして考える力 ・生活と結び付けて考える力

	児童の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第3学年	<p>ア 地図、写真資料、グラフや文章での資料など、それぞれの資料を基に考えていく学習を積み重ねている段階である。</p> <p>イ 学んだことを比較したり、結び付けたりして、相互の関連を考える学習経験はまだ十分でない。</p>	<p>ア 初めて社会科に取り組む学年であるので、資料の見方・考え方・比べ方等を丁寧に指導する。</p> <p>イ 各単元の学習において、相互の関連を考える視点を与えながら表にまとめたり、考えを整理したりする学習活動を意識的に行う。</p>	<p>ア 通年</p> <p>イ 通年</p>	
第4学年	<p>ア 写真資料や表・グラフなどの資料の読み取りに課題がある。</p> <p>イ 複数の資料を関連付けて、課題を解決することに課題がある。</p> <p>イ 生活と結び付けて考えることには、個人差がある。</p>	<p>ア 資料を読み取る時間を確保し、資料から読み取ったことを、学習問題にどうつなげるのかを話し合う。</p> <p>イ 複数の資料をどのように関連付けて考えるとよいのかを繰り返し指導する。</p> <p>イ 全体で考えを交流する時間をしっかりと確保し、よい手本を広げていく。</p>	<p>ア 通年</p> <p>イ 通年</p> <p>イ 通年</p>	
第5学年	<p>ア 必要な情報を資料から読み取る力に課題がある。</p> <p>イ 複数の資料を関連・比較して考えたり、生活と結び付けて考えることに課題がある。</p>	<p>ア 資料の読み取り方を繰り返し指導することで、読み取るポイントを自分で見付けられる力を身に付けさせる。</p> <p>イ 自分の考えの根拠を様々な資料から導き出せるように繰り返し指導する。</p>	<p>ア 通年</p> <p>イ 通年</p>	
第6学年	<p>ア 複数の資料を読み取る力が不十分である。</p> <p>イ 必要な情報を比較したり、関連付けたりし、自分の言葉でまとめる力に課題がある。</p>	<p>ア 資料の読み取り方やデータの傾向の捉え方を繰り返し指導し、自分で読み取る力を身に付ける。</p> <p>イ 複数の資料から、根拠をもって自分の考えを説明する活動を繰り返す。</p>	<p>ア 通年</p> <p>イ 通年</p>	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 3年 互いの考えをタブレット端末で見合い、考えを比べたり深めたりする。【重点:協働】
児童の興味・関心に応じてタブレット端末を活用した調べ学習を行う。【重点:個別】
- 4年 タブレット端末を活用して、必要な資料の収集できるようにする。【重点:個別】
タブレット端末を活用した得られた情報を共有できるようにする。【重点:協働】
- 5年 学習支援アプリを使用して、資料に線や文字を直接書き込んで考えられるようにする。また、考えを共有し、様々な見方・考え方を習得できるようにする。【重点:協働】
- 6年 学習課題に対して、どのように学習を進めるかを自分たちで選択させる。【重点:個別】

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 3年 身近な体験を基にして、学習問題をつくり、学んだことを普段の生活で意識していけるようにする。
- 4年 提示された事象を基に学習問題をつくり、自分が学んだことを分かりやすくまとめる活動を取り入れる。
- 5年 目的意識をもって学べるように学習計画を立て、まとめ毎に学習を振り返ることで、学びを実感できるようにする。
- 6年 体験学習を通して興味関心を高める。学習課題に対する自分の考えをまとめる時間を毎時間設ける。